

令和8年1月22日（水） 15:30～  
図書ホールにて

## 令和7年度 第3回学校運営協議会

### ○委員

- A 会長
- B 障がい者福祉サービスの施設長（副会長）
- C 松原市内中学校校長（欠席）
- D 松原市内小学校校長（欠席）
- E 中小企業家同友会南東部ブロックより
- F PTA会長

### 1. 学校長挨拶

- ・本校の現状について
- ・昨日が本校最後の授業だった。本日から考查が始まっている。生徒は様々なことに積極的に関わってくれている。このまま良い閉校を迎える。

### 2. 学年、分掌より

#### <3学年主任>

- ・勉強の仕方がわかつてきた生徒が増えてきたように感じる。
- ・進路は9割ほどが決定している。残りの生徒も方向性は固まっている。
- ・午前授業の日に様々な取り組みをして生徒のモチベーションに繋げている。

#### <教務部>

- ・各教員が工夫を凝らした授業をおこない、勉強が苦手な生徒でも積極的に取り組めるようにしてくれている。追認はほとんどの生徒が単位を修得することになった。
- ・欠席日数がギリギリの生徒が何人かいるが、なんとか踏ん張ってくれそう。

#### <進路指導部>

- ・現在のところ、進路決定率は89%。進学希望者は年内受験で進路決定している。
- ・今年度は近畿高等学校統一用紙としての調査書の書式が変わり、身体状況について書く欄がなくなったため、企業から身長体重を書いてほしいという問い合わせがあった。

#### <生徒指導、生徒会>

- ・生徒指導部として、出席状況として遅刻数が多い傾向にあり、遅刻数が大きな課題の一つであった。
- ・懲戒件数は1年生の時は多かったが、2年生3年生と進むにつれてかなり減少していった。服装に関して3年間通して定期的に指導してきた。良い形で卒業式を迎える。
- ・生徒会として、文化祭で移動動物園やキッチンカーなどさまざまな取り組みを行い、充実したものにすることができた。

#### <保健部>

- ・不登校生の未受検などの課題はあったが、おおむね順調に検診関係をすすめることができた。
- ・一番の課題であった保健室の利用について、生徒数が減ってきてるために比較することは難しいが、保健室を利用する生徒は減少した。しかし、年間で20回以上利用する生徒がいるなど課題は残った。

### 3. 協議、まとめ

委員：授業に対してどのような工夫をされたのか？

教員：少人数で授業がおこなえるというのは大きかったと感じる。各先生にも生徒が興味を持てるように授業づくりをしていただいた。

委員：企業から身体状況についてどのような問い合わせがあったのか？

教員：身長体重を教えてほしい、契約に必要であるため、とのことであった。内定後に企業にお伝えした。

委員：他の学校ではどのような状況なのか？

教員：他の学校での同じような状況が起きている。今年度からの様式変更なため企業に伝わっていないのではないかと感じた。

委員：ハローワークから採用に関する注意事項についての講義や動画があるが、見落としている企業もあるのでは？ また、仕事内容に関わってくる身体状況もあるため、教えてほしいという企業もあると思う。

### 4. 学校経営計画及び学校教育自己診断について

校長： 本年度で閉校のため総括のみ。「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒が55%と、予想以上に少なかった。ただし、アンケート実施が正月明けの始業式の朝イチであったことも原因かもしれない。「担任以外にも相談を聞いてくれる先生がいる」が97%（今まで一番良い結果であった）など非常に高い項目もあった。「行事に積極的に関わった」が94%であり、ほとんどの生徒が行事に積極的に関わってくれた。

授業に関する評価も、「授業がわかりやすい 93%」「先生は教え方に様々な工夫をしている 96%」など非常に高く、教員と生徒が良い関係性、つながりを作ることができたからだと思う。地域との関係では、閉校イベントも含めて小中学校との連携を多くとることができた。SNS として Instagram を開設し、生徒、保護者がよく見てくれており良い情報発信を行うことができた。国際交流についても、韓国への研修、韓国からの来校、留学生との交流を無事に行うことができた。

保護者の評価について、「学校で行われる行事に参加したことがある」が昨年度の 70% から 84% に上がった。3 年生で最後なので学校に来てくださった方が増えたと考えている。それが保護者と学校との信頼関係に繋がっている。「子どもが平野高校に入学して良かった」と答えた保護者が 93% でかなり嬉しい結果である。

授業アンケートについて、全項目の平均評価が 3.5（4 点満点）であった。この結果は非常に良い方である。

委員：最後の学年ということで、生徒のモチベーションなど最初は心配であったが、生徒や保護者からの評価を聞いて安心した。

委員：保護者のアンケートの回答率は？

校長：22 人の回答であった。（ほぼ 4 人に 1 人の割合）

委員：もらった回答を参考にするのも大事ではあるが、提出されていない保護者の意見も推測しながら学校運営をすすめていくべきである。

委員：生徒も複雑な課題を抱えていることもあり、出せないこともあるかもしれないが、保護者にはもっと出してほしいと考えている。こういった評価だけでなく保護者の意見が学校に届くような機会があればと思う。

委員：回収方法は？ 紙媒体？ 紙の方が出しやすい？

校長：スマホで回答する形にしている。紙媒体の時代の時の方が提出率は高かった。

委員：紙媒体の方が出さないといけないという意識は高くなるとは思う。

委員：学校経営計画の総括についてもこの内容でかまわないと、自己評価の「○○△」が、かなり控えめに評価されていると感じる。もっと○を増やしてもらってかまわないと思う。

委員：仕事に対する誇りや、仕事のすばらしさをぜひ生徒のみなさんに伝えてほしい。そういうことを話することで生徒が何かをめざすきっかけになるのではないか。

校長：ありがとうございます。自己評価については○が増えるように修正する。

## 5. その他（謝辞）

委員の皆さん、1 年間ありがとうございました。

また、46 年間支えてくださって感謝しております。

これで、大阪府立平野高等学校の最後の学校運営協議会を閉会します。